

科目名	一般教養Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	酒井 英津子（実務経験：なし）
学科・学年	ブライダル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>社会人になる為に必要な一般常識を身に付け、就職試験に受かることを目的とします。講義は以下の4つを柱として進めていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 語彙力と文章力のスキルアップ 2. 政治・経済の基本知識を学ぶ 3. 企業採用試験に出される言語能力と非言語能力分野の反復練習 4. 日本企業の現状を知る <p>講義の後はチェックテストを行い、クラスの理解度を把握します。</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要と自己紹介 2. 一般常識のテスト（学生の基礎学力を測る） 3. 同義語と対義語 4. 慣用句と外来語 5. 小テスト① 6. 国文法 1 7. 国文法 2 8. 小テスト② 9. 文章整理と短文穴埋め 1 10. 文章整理と短文穴埋め 2 11. 作文（テーマは未定） 12. 作文発表 13. 割合と確率（非言語能力問題） 14. 速さ・時間・距離の計算（非言語能力問題） 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。
成績評価方法 及び 基準	小テスト①20点、小テスト②20点、期末テスト 60 点の計 100 点で採点し、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	チェックテストで間違えた問題は必ず復習してください。
履修に 当たっての 留意点	日頃から、新聞やネットでニュースを読むことを心掛けてください。

科目名	一般教養Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	酒井 英津子（実務経験：なし）
学科・学年	ブライダル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>前期に引き続き、基本的な一般常識を学びます。更に日本社会の仕組みや現状を解説し、半年後には社会人になるという、学生の意識を高めることを目的とします。</p> <p>国内外のニュースや話題を取り上げ、それについてのスピーチやディスカッションを実施し、表現力を養います。</p> <p>またブライダル科は英語のカリキュラムが無いので、基本的な接客英語演習も授業に取り入れます。</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地方自治と産業 2. 日本の企業と中部地方の企業 3. 国際機関 4. 外来語と英略語（ビジネス用語） 5. 小テスト① 6. 憲法・法律・裁判 7. 国会・内閣・政党 8. 小テスト② 9. アジアの中の日本 10. 世界の中の日本 11. ディスカッション（テーマ：未定） 12. アフターコロナ時代におけるブライダル業界（1） 13. アフターコロナ時代におけるブライダル業界（2） 14. 作文（テーマ：未定） 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。
成績評価方法 及び 基準	小テスト①15点、小テスト②15点、作文15点、ディスカッション15点、期末テスト40点、計100点満点で採点し、60点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	各小テストで10点以下の学生には、課題を出します。
履修に 当たっての 留意点	ブライダル業界以外の企業にも、日頃から関心を持ちましょう。

科目名	ブライダル業界研究Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダル業界の歴史をはじめ、現在の業界事情、これからの動向を研究しそれぞれの就職活動に役立てることを目的とする。 授業ではゼクシィなどのブライダル情報雑誌やフェア情報を取り入れ、現在のブライダル業界を見極め裾野が広いと言われる業界において、自分の進む進路の研究に繋がる配慮をしている。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブライダル産業 2. ブライダルマーケット 3. 挙式、披露宴マーケット 4. ハネムーン(アフターブライダル)マーケット 5. 新婚生活マーケット 6. 演出商品研究その① 7. 演出商品研究その② 8. 演出商品研究その③ 9. アイテム研究その① 10. アイテム研究その② 11. アイテム研究その③ 12. 企業研究その① 13. 企業研究その② 14. 企業研究その③ 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活の中から、ブライダル業界・サービス業界に就くために、どんな人が求められるかを常に考え、何をしたら相手が喜んでくれるかを一番に考え行動することを習慣づける。
履修に 当たっての 留意点	現在の業界事情だけでなく、歴史の移り変わり、これからの動向をしっかりと研究させる。

科目名	ブライダル業界研究Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダル業界の歴史をはじめ、現在の業界事情、これからの動向を研究しそれぞれの就職活動に役立てることを目的とする。 授業ではゼクシィなどのブライダル情報雑誌やフェア情報を取り入れ、現在のブライダル業界を見極め裾野が広いと言われる業界において、自分の進む進路の研究に繋がる配慮をしている。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. フォト・映像演出 研究 その① 2. フォト・映像演出 研究 その② 3. フォト・映像演出 研究 その③ 4. 音響演出研究 その① 5. 音響演出研究 その② 6. 音響演出研究 その③ 7. ペーパーアイテム研究 その① 8. ペーパーアイテム研究 その② 9. ペーパーアイテム研究 その③ 10. 希望企業研究まとめ ① 11. 希望企業研究まとめ ② 12. 希望企業研究まとめ ③ 13. 希望企業研究まとめ ④ 14. 発表 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活の中から、ブライダル業界・サービス業界に就くために、どんな人が求められるかを常に考え、何をしたら相手が喜んでくれるかを一番に考え行動することを習慣づける。
履修に 当たっての 留意点	現在の業界事情だけでなく、歴史の移り変わり、これからの動向をしっかりと研究させる。

科目名	ブライダル接遇マナーⅡ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	和田 香織（実務経験：全日本空輸株式会社にて 8 年 4 ヶ月、客室乗務員業務に携わる）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	この授業は秘書検定 2 級合格を目指しています。 ただし、秘書になる事が目的ではなく、秘書検定を通して社会人として必要な常識やマナーを学んでいきます。 社会に出たときになぜマナーは必要なのかを考え、正しい知識を身に付けます。 受験に関してのコツや授業内容のポイントも伝えていきます。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（秘書検定について・社会人としての良識） 2. 仕事に取り組む姿勢 3. 身だしなみ 4. 秘書の心得 5. 上司のスケジュール管理 6. 会社と経営組織 7. 経営・マーケティング 8. 財務・会計 9. 税務・経営法務 10. 好ましい人間関係 11. 断り方と苦情対応 12. 敬語の種類と基本ルール 13. 接遇表現の使い方 14. 来客の案内・紹介 15. 前期振り返り
使用テキスト ・教材等	早稲田教育出版 秘書検定 2 級集中講義 改定版 早稲田教育出版 秘書検定 2 級実問題集 2022 年度版
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内で指示した課題・内容について予習、復習する事。
履修に 当たっての 留意点	授業での質疑応答には積極的に参加する。

科目名	ブライダル接遇マナーⅡ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	和田 香織（実務経験：全日本空輸株式会社にて 8 年 4 ヶ月、客室乗務員業務に携わる）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	この授業は前期に引き続き秘書検定 2 級合格を目指しています。 秘書検定を通して社会人として必要な常識やマナーの知識を生かして実践していきます。 言葉遣いや知識の定着を図ります。 なぜマナーが必要なのか、職場内、社会の中での心遣いをどう表現していくのかを考え、 社会に出たときに実践できる力を身に付けます。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話の受け方・取り次ぎ方 2. 慶事・弔事のマナー 3. 贈答マナー 4. 会議・会合の基礎知識 5. 日程管理のポイント 6. ビジネス文書の種類 7. 社外文書・社交文書の決まり事 8. グラフの書き方 9. 文書の受信・発信 10. 「秘」扱い文書の取り扱い 11. 電子メールとファックスの使い方 12. 名刺の整理 13. オフィスのレイアウトと環境整備 14. おさらい 15. 1 年を振り返って
使用テキスト ・教材等	早稲田教育出版 秘書検定 2 級集中講義 改訂版 早稲田教育出版 秘書検定 2 級実問題集 2022 年度版
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内で指示した課題・内容について予習、復習する事。
履修に 当たっての 留意点	授業での質疑応答には積極的に参加する。

科目名	ブライダルコーディネーター技能検定受験対策（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	2 年時に受験する国家資格ブライダルコーディネーター技能検定 3 級合格を目的とする。 テキストを利用し、コーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を学ぶ。 （講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会場コーディネーター・テーブルコーディネーター 2. ペーパーアイテム 3. 料理・飲み物 4. ウェディングケーキ 5. 披露宴基本演出 6. 引出物・引菓子 7. 記録・記念アイテム 8. 手配業務 9. 当日業務 コーディネーターの役割 10. 当日アテンド(介添え)業務 11. 当日サービス業務 12. 当日のアクシデントへの対応 13. 進行表作成の考え方 14. 挙式・披露宴進行表の事例 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	BIA 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	婚礼儀式の多様化、個性化、社会情勢の変化に対応する知識、実践力を意識させる。
履修に 当たっての 留意点	お客様のニーズを汲み取り、文化、慣習の担い手として、各種分業の壁を越えて コーディネーターする力を身に付ける。

科目名	ブライダルコーディネーター技能検定受験対策（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	2 年時に受験する国家資格ブライダルコーディネーター技能検定 3 級合格を目的とする。 テキストを利用し、コーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を学ぶ。 （講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1. 試験対策① 2. 試験対策② 3. 試験対策③ 4. 試験対策④ 5. 試験対策⑤ 6. 試験対策⑥ 7. 試験対策⑦ 8. 試験対策⑧ 9. 試験対策⑨ 10. 試験対策⑩ 11. 試験対策⑪ 12. 試験対策⑫ 13. 試験対策⑬ 14. 試験対策⑭ 15. 試験対策⑮
使用テキスト ・教材等	BIA 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	婚礼儀式の多様化、個性化、社会情勢の変化に対応する知識、実践力を意識させる。
履修に 当たっての 留意点	お客様のニーズを汲み取り、文化、慣習の担い手として、各種分業の壁を越えて コーディネーターする力を身に付ける。

科目名	ドレスコーディネート（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	両木 彩華（実務経験：5年 スタイリスト）
学科・学年	ブライダル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダルコーディネートの中での婚礼衣装全般に関する知識、スタイリストとしての心得を学び、将来のコーディネーター、プランナー、スタイリストとしてふさわしい接客や提案が出来るようになることを目標とする。 一年生で学んだ婚礼衣装の基礎知識の復習をし、理解した上で新郎新婦側、コーディネーター側それぞれの立場を経験する実習を取り入れ、一生に一度の結婚式への思いを体感することを目的とする。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブライダルコーディネーター、スタイリストとしての心構え 2. 婚礼衣装の種類①（ドレス） 3. 婚礼衣装の種類②（和装） 4. 婚礼衣装の種類③（新郎衣装） 5. 婚礼衣装の種類④（列席衣装） 6. 衣装の選び方① 7. 衣装の選び方② 8. ヘアアレンジ、小物選び 9. ドレスの扱い方、管理 （サロンのドレスを使用して） 10. ドレスのデザインの特徴と素材の特徴 （サロンのドレスを使用して） 11. ドレスの試着の仕方、注意点 （サロンのドレスを使用して） 12. ドレス提案の実習① 13. ドレス提案の実習② 14. ドレス提案の実習③ 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	サロンの衣装、小物など 衣装関連プリントなど
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100点満点のうち 60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ブライダル業界の動向や婚礼衣装をはじめファッションの流行をキャッチし、多様化するウェディング情報に注目すること。
履修に 当たっての 留意点	学校の衣装やウェディングアイテムの状態に留意し、丁寧に扱い、適切に管理すること。

科目名	ドレスコーディネート（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	両木 彩華（実務経験：5年 スタイリスト）
学科・学年	ブライダル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>婚礼衣装の基礎知識を学んだ上で、繊細な衣装やブライダルアイテムの扱い方から、物の大切さを感じ取れるようにする。</p> <p>衣装を試着することで結婚式への想いを感じとり、コーディネーター・プランナーとしての発展につなげることを目的とする。</p> <p>お客様からの様々な希望に対応出来るよう、ドレスを試着し新郎新婦役を体験する事で、それぞれに合った提案力を身に付ける。</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 婚礼衣装の歴史と流行 2. ドレスコード 3. 世界の婚礼衣装 4. ブーケと婚礼衣装の組み合わせ 5. ドレス・タキシードの試着の仕方 6. ウェディングドレス試着① 7. ウェディングドレス試着② 8. ウェディングドレス試着③ 9. カラードレス試着① 10. カラードレス試着② 11. カラードレス試着③ 12. トータルコーディネート実習① 13. トータルコーディネート実習② 14. トータルコーディネート実習③ 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	サロンの衣装、小物など 衣装関連プリントなど
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100点満点のうち 60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ブライダル業界の動向や婚礼衣装をはじめファッションの流行をキャッチし、多様化するウェディング情報に注目すること。
履修に 当たっての 留意点	学校の衣装やウェディングアイテムの状態に留意し、丁寧に扱い、適切に管理すること。

科目名	ビジュアルクリエイション（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	村瀬 聖治（一般教員）
学科・学年	ブライダル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	Windows ムービーメーカーを使って、映像作品制作を通し、動画編集の基礎を体得する。 ウェディングムービー（生い立ちムービー）などを制作できるスキルを身につける。 （実習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 世の中の映像コンテンツを知る 2. ムービーメーカーの基本操作、ファイルやフォルダ管理の方法 3. 作品制作その 1 4. 作品制作その 2 5. 作品制作その 3 6. 作品制作その 4 7. 作品制作その 5 8. 作品制作その 6 9. 作品制作その 7 10. 作品制作その 8 11. 作品制作その 9 12. 作成制作その 10（作品提出日） 13. 鑑賞会その 1 14. 鑑賞会その 2 15. 鑑賞会その 3
使用テキスト ・教材等	特になし
成績評価方法 及び 基準	<p>実習評価の 6 割以上確保を持って合格とする。</p> <p>実習評価は、前期末に提出する映像作品（3～5 分）の点数評価の合計点とする。 （事前説明後、提出課題の課題点を加味する場合もある）</p> <p>その他、学則に準拠する。</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	USB メモリーカードや SD カードが用意できるとなると良い。音楽については、CD や自分自身がダウンロード購入した楽曲（スマートフォンだけではなく PC に入れられる状態）が用意できると良い。
履修に 当たっての 留意点	<p>就職活動における公欠であっても授業は進んでいくので、授業を抜けたのなら、進捗の遅れの穴を埋めるために放課後などに実習室を利用してもよい。</p> <p>課題提出内容により理解度不足であると判断した場合には、実習後または指定期日に補習（実習）を実施することがある。</p>

科目名	ビジュアルクリエイション（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	村瀬 聖治（一般教員）
学科・学年	ブライダル科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	Adobe Premiere を使って、前期同様、映像作品制作を通し、動画編集を体得する。前期よりも多機能な動画編集ソフトを用いることで、より喜んでもらえるムービーを制作できるようスキルアップを目指す。 機能は非常に多岐に渡るので、作品制作を通して、実現させたいことの質問に答えていく方式を主とする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Adobe Premiere の特徴（レイヤーの概念） 2. 作品制作その 1 3. 作品制作その 2 4. 作品制作その 3 5. 作品制作その 4 6. 作品制作その 5 7. 作品制作その 6 8. 作品制作その 7 9. 作品制作その 8 10. 作品制作その 9 11. 作品制作その 10 12. 作成制作その 11（作品提出日） 13. 鑑賞会その 1 14. 鑑賞会その 2 15. 鑑賞会その 3
使用テキスト ・教材等	特になし
成績評価方法 及び 基準	<p>実習評価の 6 割以上確保を持って合格とする。</p> <p>実習評価は、前期末に提出する映像作品（3～5 分）の点数評価の合計点とする。 （事前説明後、提出課題の課題点を加味する場合もある）</p> <p>その他、学則に準拠する。</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	USB メモリーカードや SD カードが用意できるとなお良い。音楽については、CD や自分自身がダウンロード購入した楽曲（スマートフォンだけではなく PC に入れられる状態）が用意できると良い。
履修に 当たっての 留意点	<p>就職活動における公欠であっても授業は進んでいくので、授業を抜けたのなら、進捗の遅れの穴を埋めるために放課後などに実習室を利用してよい。</p> <p>課題提出内容により理解度不足であると判断した場合には、実習後または指定期日に補習（実習）を実施することがある。</p>

科目名	ブライダル実習Ⅱ（前期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	1 年次に学び身につけた人前結婚式の基礎・基本をより深く研究し、自身のスキルアップに繋げる。 学びの成果を発表する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人前結婚式の成り立ちⅡ① 2. 人前結婚式の成り立ちⅡ② 3. 新郎新婦スタイリング 4. 入場準備・確認(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 5. 迎賓(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 6. 新郎新婦入場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 7. 新郎新婦紹介(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 8. 結婚証明書署名(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 9. 結婚指輪交換(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 10. 成婚宣言(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 11. 新郎新婦退場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 12. シミュレーション① 13. シミュレーション② 14. 発表会 15. フィードバック
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	発表会にて 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活において、業界が求めるマインドづくりをする。
履修に 当たっての 留意点	技術や知識だけではなく、結婚式への想いを向上させる。

科目名	ブライダル実習Ⅱ（後期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	1 年次に学び身につけた人前結婚式の基礎・基本をより深く研究し、自身のスキルアップに繋げる。 自ら企画演出を行い結婚式を創り上げる。 学びの成果を発表する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 演出企画Ⅱ① 2. 演出企画Ⅱ② 3. 新郎新婦スタイリング 4. 入場準備・確認(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 5. 迎賓(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 6. 新郎新婦入場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 7. 新郎新婦紹介(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 8. 結婚証明書署名(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 9. 結婚指輪交換(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 10. 成婚宣言(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 11. 新郎新婦退場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 12. シミュレーション① 13. シミュレーション② 14. 発表会 15. フィードバック
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	発表会にて 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活において、業界が求めるマインドづくりをする。
履修に 当たっての 留意点	技術や知識だけではなく、結婚式への想いを向上させる。

科目名	総合演習（前期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダル業界での実務経験を活かし、学生たちには業界が求める人財像を正しく理解させ、イベント（ブライダルフェスティバル）に向けて学生たち自らが主体的に人前結婚式及び披露宴を立案・企画・準備や当日の担当までの全てを行い、即戦力としての力量を身につけさせることを目標とする。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブライダルフェスティバル テーマ立案 2. テーマ決め 3. 役割決め 4. ブライダルコレクション企画 5. モデル選定 6. 練習・準備① 7. 練習・準備② 8. 練習・準備③ 9. 練習・準備④ 10. 練習・準備⑤ 11. 練習・準備⑥ 12. 練習・準備⑦ 13. 練習・準備⑧ 14. フィードバック 15. 改善会
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100 点満点として、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃の学校生活の中から、自分で考え行動することを意識させる。
履修に 当たっての 留意点	企画から施行までを学び、オリジナルの提案・演出力をつけ、2 年間の集大成として即戦力となる力をつける。

科目名	総合演習（後期 90 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダル業界での実務経験を活かし、学生たちには業界が求める人財像を正しく理解させ、イベント（卒業制作）に向けて学生たち自らが主体的に人前結婚式及び披露宴を立案・企画・準備や当日の担当までの全てを行い、即戦力としての力量を身につけさせることを目標とする。 卒業制作に向けて立案・企画・準備を行い、例年 3 月初旬に実際のホテルのバンケットを借りて総合演習（卒業制作）発表会を開催する。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業制作 テーマ立案 2. 予算決め 3. 役割決め 4. 演出・企画 5. ペーパーアイテム選定 6. 練習・準備① 7. 練習・準備② 8. 練習・準備③ 9. 練習・準備④ 10. 練習・準備⑤ 11. 練習・準備⑥ 12. 練習・準備⑦ 13. 練習・準備⑧ 14. フィードバック 15. 改善会
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100 点満点として、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃の学校生活の中から、自分で考え行動することを意識させる。
履修に 当たっての 留意点	企画から施行までを学び、オリジナルの提案・演出力をつけ、2 年間の集大成として即戦力となる力をつける。

科目名	ウェディンググッズ制作（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ 選択
担当教官	大竹 照代（実務経験：22 年 ブライダル司会業に携わる）
学科・学年	ブライダル科 2 年 ブライダルプランナーコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダルシーンを飾る様々なウェディンググッズの意味や役目の理解を深め、実際にウェディンググッズを製作することにより、挙式、披露宴の準備をする新郎新婦、あるいは新郎新婦のためにグッズを贈る家族、友人の思いや製作のプロセスを体感し、思いに寄り添うことを目的とし、プランナーとしての心構えを養う。製作においてはテーマを持ち、丁寧な取り組みを評価する。前期は手書きのカリグラフィーを学び、習得したカリグラフィーの文字を取り入れた作品を製作する。また、1 年で学んだカラーコーディネートを有効に活用し、ブライダルシーンにおいてのトータルコーディネートができるようになることも目標とする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウェディンググッズの種類や役目 2. カリグラフィーの説明と練習① 3. カリグラフィーの練習② 4. カリグラフィーの練習③ 5. カリグラフィーの練習④ 6. カリグラフィーのグリーティングカード作成 7. クイリングの説明と練習① 8. クイリングのデザインとパーツ製作① 9. クイリングのパーツ製作② 10. クイリングのパーツ製作③ 11. クイリングのフォトフレーム作成 12. ウェディングキルトの説明と色選び 13. ウェディングキルトのピースワーク① 14. ウェディングキルトのピースワーク② 15. ウェディングキルトのピースワーク③
使用テキスト ・教材等	カリグラフィーの手本はプリントを配付する。 その他カリグラフィーペン、クイリングバー、クイリングペーパー、布地など。
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：カリグラフィー50 点、クイリング作品 50 点、計 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	教室、サロン、バンケットなどの汚れやごみ、飾ってあるウェディンググッズやディスプレイの乱れなどにいち早く気づき自ら整える習慣をつけること。日頃からウェディンググッズなどの流行などもチェックすること。
履修に 当たっての 留意点	苦手なことにも根気よく、誠実に取り組む姿勢を忘れず、思いを大切に、こだわりを持って製作に当たること。作業時間を考慮し、プランから仕上げまでの的確な時間配分をすること。

科目名	ウェディンググッズ制作（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	大竹 照代（実務経験：22 年 ブライダル司会業に携わる）
学科・学年	ブライダル科 2 年 ブライダルプランナーコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>前期に続き、ウェディンググッズ制作に取り組み、実際のウェディングシーンを飾ったり演出できるレベルのグッズ制作を目指し、丁寧な取り組み、思いを込めたモノづくりを目標とする。</p> <p>仕上がった作品のふさわしい飾り方、見せ方など、ディスプレイのセンスを磨くこと、材料や作品の管理など、物の扱い方に細心の注意をはらうことも身に付け、将来プランナーとしてのウェディンググッズとの向き合い方を養う。</p> <p>また新しいクラフトや話題のブライダル関連グッズの情報収集や動向にも注目し、知識や興味を広めることも目指す。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウェディングキルトのピースワーク④ 2. ウェディングキルトのピースワーク⑤ 3. ウェディングキルトのピースワーク仕上げ 4. 羽子板飾りのウェルカムボード説明 5. 羽子板飾りのウェルカムボード製作① 6. 羽子板飾りのウェルカムボード製作② 7. 羽子板飾りのウェルカムボード製作③ 8. 羽子板飾りのウェルカムボード製作④ 9. 羽子板飾りのウェルカムボード製作⑤ 10. 羽子板飾りのウェルカムボード仕上げ 11. 共同製作①（ウェディングキルトのピースを組み立て作品に仕立てる） 12. 共同製作② 13. 共同製作③ 14. 共同製作④ 15. 共同製作⑤
使用テキスト ・教材等	材料として 布地、羽子板台、色画用紙など
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：パッチワークピースワーク 40 点、羽子板飾り 40 点、製作についての説明、感想シート 20 点、計 100 点満点中、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	作品や製作途中の材料などのほか、学校内の備品やブライダル関連の物品の全てを丁寧に取り扱い、管理に責任を持つこと。
履修に 当たっての 留意点	限られた時間の中で手際よくかつ丁寧に仕事を進めること、またレイアウトにもこだわりを持って、より良い作品になるよう思いを大切に最後まできちんと取り組むこと。

科目名	イベント企画・プロデュース演習Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年 ブライダルプランナーコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	結婚式場での実務経験を活かし、披露宴の企画から施行までを学び、オリジナル披露宴の提案・進行まで結婚披露宴に関わる実務業務の全てを習得し即戦力となる力をつけることを目的とする。 授業では挙式・結婚披露宴を自由に企画演出し、司会・音響・照明・キャプテン・アテンド業務を実務で学び卒業試験発表へと繋げる。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 披露宴進行・演出① 2. 披露宴進行・演出② 3. 披露宴進行・演出③ 4. 迎賓 5. 入場 6. ケーキ入刀 7. 乾杯 8. 祝宴～サービス開始パフォーマンス 9. 色直し中座 10. 再入場 キャンドルサービス～メインへ 11. 余興演出 12. 門出 13. 送賓 14. 迎賓～中座 15. 中座～送賓
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	結婚式に関連する施設、備品など、物を大切に丁寧に扱う習慣をつけること。
履修に 当たっての 留意点	卒業試験に向け、演出・発表する力をつける。 業界に必要とされるマインドを実技の中でしっかり育てる。

科目名	イベント企画・プロデュース演習Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年 ブライダルプランナーコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	結婚式場での実務経験を活かし、披露宴の企画から施行までを学び、オリジナル披露宴の提案・進行まで結婚披露宴に関わる実務業務の全てを習得し即戦力となる力を付けることを目的とする。 授業では挙式・結婚披露宴を自由に企画演出し、司会・音響・照明・キャプテン・アテンド業務を実務で学び卒業試験発表へと繋げる。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業試験発表へ向けて 2. テーマ決め 3. 役割分担 4. アイテム作成 5. 進行企画 6. 演出決定 7. BGM 決定 8. 練習 9. 練習 10. 練習 11. 練習 12. 練習 13. 練習 14. 練習 15. 発表
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	実務試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	結婚式に関連する施設、備品など、物を大切に丁寧に扱う習慣をつけること。
履修に 当たっての 留意点	卒業試験に向け、演出・発表する力をつける。 業界に必要とされるマインドを実技の中でしっかり育てる。

科目名	ブライダルアナウンスⅡ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年 ブライダルプランナーコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	1 年生で学んだ話し方の基本を応用し、自分の想いを伝える話し方や表現力の幅を広げることを目的とする。 授業では 1 年で学んだ挙式から結婚披露宴までのアナウンス、音響、キャプテンアテンドまでを出来るようにし卒業制作に繋げる。（実習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ういろう売り 披露宴のアナウンスについて① 2. ういろう売り 披露宴のアナウンスについて② 3. ういろう売り 披露宴のアナウンスについて③ 4. ういろう売り 迎賓 5. ういろう売り 新郎新婦入場 6. ういろう売り プロフィール紹介 7. ういろう売り ケーキ入刀 8. ういろう売り 乾杯～祝宴 9. ういろう売り 色直し退場 10. ういろう売り 祝電披露 11. ういろう売り インタビュー① 12. ういろう売り インタビュー② 13. ういろう売り インタビュー③ 14. ういろう売り 迎賓～中座 15. ういろう売り 迎賓～中座+インタビュー
使用テキスト ・教材等	ういろう売り、オリジナル司会原稿
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	思いを相手に伝える習慣を身に付け、発表する場を自ら作って行ける様に意識させる。
履修に 当たっての 留意点	披露宴のアナウンスを習得するだけでなく、コミュニケーション能力を高め、即戦力を目指させる。

科目名	ブライダルアナウンスⅡ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 2 年 ブライダルプランナーコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	1 年生で学んだ話し方の基本を応用し、自分の想いを伝える話し方や表現力の幅を広げることを目的とする。 授業では 1 年で学んだ挙式から結婚披露宴までのアナウンス、音響、キャプテンアテンドまでを出来るようにし卒業制作に繋げる。（実習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ういろう売り 再入場 キャンドルサービス 2. ういろう売り メインキャンドル 3. ういろう売り 余興紹介 4. ういろう売り 花束贈呈 5. ういろう売り 新婦手紙代読 6. ういろう売り 謝辞 7. ういろう売り 門出 8. ういろう売り 送賓 9. ういろう売り 再入場～送賓 10. ういろう売り 披露宴の進行まとめ① 11. ういろう売り 披露宴の進行まとめ② 12. ういろう売り 人前式 13. ういろう売り 披露宴 14. ういろう売り 三枚暗唱速読 15. ういろう売り 挙式～披露宴まで
使用テキスト ・教材等	ういろう売り、オリジナル司会原稿
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	思いを相手に伝える習慣を身に付け、発表する場を自ら作って行ける様に意識させる。
履修に 当たっての 留意点	披露宴のアナウンスを習得するだけでなく、コミュニケーション能力を高め、即戦力を目指させる。

科目名	フラワーデザイン実習（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ 選択
担当教官	大竹 照代（実務経験：22 年 ブライダル司会業に携わる）
学科・学年	ブライダル科 2 年 ブライダルスタイリストコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>ウェディングシーンを飾る重要なフラワーアイテムの知識を深め、デザイン・製作の実習をし、技術を身に付けるとともにコーディネートの提案ができるようになることを目標とする。</p> <p>前期はフラワーアイテムの種類や役割、花材やアレンジメント法などについて学んだ後 1 年で学んだ色彩やパーソナルカラーの基礎知識を有効に活用し、フラワーアレンジのデザインと製作をする。</p> <p>また作品のディスプレイの仕方や効果、会場コーディネートも総合的に工夫できるセンスを養う。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウェディングシーンにおけるフラワーアイテムの種類と役割 2. フラワーアレンジメントの基本：アレンジメント用語とプリザーブドフラワー 3. フラワーアレンジメントの基本：ワイヤリング・テーピング 4. フラワーアレンジメントの基本：メリアローズの技法 5. フラワーアレンジメントの基本：リボンワーク 6. 夏のアレンジメントの製作① 7. 夏のアレンジメントの製作② 8. 夏のアレンジメントの仕上げ 9. オーガンジーのフラワーアレンジ① 10. オーガンジーのフラワーアレンジ② 11. オーガンジーのフラワーアレンジ③ 12. オーガンジーのフラワーアレンジの仕上げ 13. つまみ細工の基本：剣つまみ、丸つまみ 14. つまみ細工の練習：花 15. つまみ細工のかんざしのデザイン
使用テキスト ・教材等	<p>フラワーアレンジメント・つまみ細工に関するプリントを配布する。</p> <p>材料として花器、花材、ワイヤー、布地など。</p>
成績評価方法 及び 基準	<p>実技試験による評価：アレンジメントの手法 70 点、製作についての説明、感想シート 30 点、計 100 点満点中、60 点以上を合格とする。</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>生活の中で見かける花やフラワー関連グッズに興味を持ち、シーンに合った花の種類や素材、デザイン、配色などを見て学ぶこと</p>
履修に 当たっての 留意点	<p>人やシーンに想いを込めて、時間配分を考慮し、丁寧に製作すること。花材や作品の取り扱い、管理に細心の注意をはらうこと</p>

科目名	フラワーデザイン実習（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ 選択
担当教官	大竹 照代（実務経験：22 年 ブライダル司会業に携わる）
学科・学年	ブライダル科 2 年 ブライダルスタイリストコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	前期に続き、つまみ細工とフラワーアレンジメント製作に取り組み、ウェディングシーンや晴れの日を華やかに彩る技術を高めること目標とする。 後期はスタイリストコースの作品らしく、ウェディングシーンにふさわしい、美しく完成度の高い作品の製作を目指したい。また、衣裳、テーブルアイテムなどからトータルでフラワーデザインを考えるコーディネートセンスを磨くことも目標とする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. つまみ細工のかんざしの製作① 2. つまみ細工のかんざしの製作② 3. つまみ細工のかんざしの製作③ 4. つまみ細工のかんざしの製作④ 5. つまみ細工のかんざしの製作⑤ 6. つまみ細工のかんざしの製作⑥ 7. つまみ細工のかんざしの製作⑦ 8. つまみ細工のかんざしの製作⑧ 9. つまみ細工のかんざしの仕上げ 10. センターピースの製作① 11. センターピースの製作② 12. センターピースの製作③ 13. センターピースの仕上げ 14. オーガンジーのフラワーアレンジ仕上げ 15. フラワーアイテムのディスプレイ
使用テキスト ・教材等	材料として 布地、かんざし金具、リボン、花器、花材など
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：つまみ細工の手法 40 点、アレンジメントの手法 40 点、製作についての説明、感想シート 20 点、計 100 点満点中、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	フラワーアイテムのみならず、ウェディングシーンや生活を飾る様々なアイテムや演出のコーディネート情報を収集し、創造力や提案力をつけること。サロンやパウダールーム内を季節やテーマに合わせて美しくディスプレイすること。
履修に 当たっての 留意点	結婚式、披露宴を迎えるお客様の思いを汲み、スタイリストとしてのこだわりを持って丁寧な製作と準備に取り組むこと。

科目名	トータルコーディネート（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ 選択
担当教官	中村 和代（実務経験：㈱万兵デザイナー 5 年・(有)プランニングオフィスラグーンデザイナー 1 年・(有)よし川 ブライダルコーディネーター 8 ヶ月・中部ファッション専門学校教員 7 年・㈱バンタンデザイン研究所講師 7 年・明美文化服装専門学校教員 8 年・atelier porte 4 年・un_atelier 5 年）
学科・学年	ブライダル科 2 年 ブライダルスタイリストコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダル業界でスタイリストとしてお客様の様々なご要望にお応えする為、またご提案ができる人材であるための知識と技術を習得する。 花嫁のトータルコーディネートのご提案ができるよう、ヘッドアクセサリー・グローブなどの知識と制作を学ぶ。 ヘッドアクセサリーやグローブのデザイン制作を学ぶ（講義・実習）。 卒業制作ドレスに向けた企画立案・担当役割を決定する（講義）。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業制作ドレス制作プランニング企画 2. 卒業制作ドレス制作プランニング企画 3. ウエディング小物知識<講義> 4. ウエディング小物制作 5. ウエディング小物制作 6. ウエディング小物制作 7. ウエディング小物制作 8. ウエディング小物制作 9. ウエディング小物制作 10. ウエディング小物制作 11. 卒業制作ドレス<デザイン決定> 12. 卒業制作ドレス<素材・カラー決定> 13. 卒業制作ドレス<トワール制作> 14. 卒業制作ドレス<トワール制作> 15. 卒業制作ドレス<トワール制作>
使用テキスト ・教材等	授業内容ごとに必要なものを担当者が制作し、配布する。
成績評価方法 及び 基準	授業態度・制作技術・作業中の整理整頓や道具の扱いなどを基準とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業時間内で予定までできなかった事柄に関して、提出日に間に合わないと判断した場合。
履修に 当たっての 留意点	制作工程やスケジュールを把握し、チームワークを第一に行動する。

科目名	トータルコーディネート（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ 選択
担当教官	中村 和代（実務経験：(株)万兵デザイナー 5 年・(有)プランニングオフィスラグーンデザイナー 1 年・(有)よし川 ブライダルコーディネーター 8 ヶ月・中部ファッション専門学校教員 7 年・(株)バンタンデザイン研究所講師 7 年・明美文化服装専門学校教員 8 年・atelier porte 4 年・un_atelier 5 年)
学科・学年	ブライダル科 2 年 ブライダルスタイリストコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	前期に引き続き、卒業制作ドレスの制作を行う（実習）。1 着のドレスが企画立案からどの様に出来上がるかを知ること、お客様にご提案する際の臨み方が違うという事を学ぶ。また、卒業制作発表（ホテル）を通じ、お客様に見て頂くという経験を通してドレスの素晴らしさを学ぶ。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業制作ドレス<トワルチェック> 2. 卒業制作ドレス<トワルチェック> 3. 卒業制作ドレス<本生地裁断> 4. 卒業制作ドレス<本生地裁断> 5. 卒業制作ドレス<制作> 6. 卒業制作ドレス<制作> 7. 卒業制作ドレス<制作> 8. 卒業制作ドレス<制作> 9. 卒業制作ドレス<制作> 10. 卒業制作ドレス<制作> 11. 卒業制作ドレス<制作> 12. 卒業制作ドレス<制作> 13. 卒業制作ドレス<制作> 14. 卒業制作ドレス<制作> 15. 卒業制作ドレス<制作>
使用テキスト ・教材等	授業内容ごとに必要なものを担当者が制作し、配布する。
成績評価方法 及び 基準	授業態度・制作技術・作業中の整理整頓や道具の扱いなどを基準とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業時間内で予定までできなかった事柄に関して、提出日に間に合わない判断した場合。
履修に 当たっての 留意点	制作工程やスケジュールを把握し、チームワークを第一に行動する。

科目名	和装着付実習Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	天野 真由子（実務経験：小林豊子きもの学院にて講師歴 12 年）
学科・学年	ブライダル科 2 年 ブライダルスタイリストコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダルに携わる学生たちが現場において、即座に着物を扱うことができ、なおかつ着物の知識を持ち得ることにより、速やかにその対応ができるようになることを目的とする。授業の方法としては、自分で着物を着る事を前提に、多様な帯結びを伝え実践。加えて、お相手の着つけと帯結びの実践。（実習）講義は基礎に加えて、より深い知識を伝える。（家紋・衣替え・きものと帯、小物の合わせ方など）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 袋帯での二重太鼓(復習) 2. 袋帯での二重太鼓(手先の柄の出し方) 3. 袋帯での二重太鼓(手先の柄の出し方 復習) 4. 名古屋帯でのかきつばた 5. お相手結び(名古屋帯での宝結びとその変化結び) 6. お相手結び(名古屋帯での宝結びとその変化結び) 7. 名古屋帯での角出し(自装) 8. 名古屋帯での角出し(お相手結び) 9. お相手の着つけ 10. お相手結び(文庫) 11. お相手結び(文庫) 12. 着物の着方・全通柄名古屋帯のお太鼓(復習) 13. 実技試験 14. お相手結び(名古屋帯のお太鼓・お太鼓柄) 15. お相手結び(名古屋帯のお太鼓・お太鼓柄)
使用テキスト ・教材等	小林豊子きもの学院教本 実技編・知識編
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：着物の着方(裾合わせ、衿合わせ、所作等)、帯結び(全通柄名古屋帯のお太鼓) 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	各自授業でやったことを復習する。教本を見返しイメージトレーニングでもよい。
履修に 当たっての 留意点	着物に興味を持つこと。集中力を持って実技に挑む。

科目名	和装着付実習Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ 選択
担当教官	天野 真由子（実務経験：小林豊子きもの学院にて講師歴 12 年）
学科・学年	ブライダル科 2 年 ブライダルスタイリストコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダルに携わる学生たちが現場において、即座に着物を扱うことができ、なおかつ着物の知識を持ち得ることにより、速やかにその対応ができるようになることを目的とする。授業の方法としては、自分で着物を着る事を前提に、多様な帯結びを伝え実践。加えて、お相手の着つけと帯結びの実践。（実習）講義は基礎に加えて、より深い知識を伝える。（家紋・衣替え・きものと帯、小物の合わせ方など）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. お相手結び(ふくら雀)復習 2. お相手結び(ふくら雀三枚羽根) 3. お相手結び(文庫・末広文庫) 4. お相手結び(文庫・末広文庫) 5. お相手結び(蝶々) 6. お相手結び(立矢・末広立矢) 7. お相手結び(立矢・末広立矢) 8. お相手きつけ(復習) 9. 講義(家紋・衣替えときもの手入れと保存) 10. 講義(きものと帯・小物の合わせ方) 11. 着物の着方・全通柄名古屋帯のお太鼓(復習) 制限時間 10 分 12. 実技試験 13. 二重太鼓(復習) 14. 末広二重太鼓その 1、その 2 15. 総復習
使用テキスト ・教材等	小林豊子きもの学院教本 実技編・知識編
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：着物の着方(裾合わせ、衿合わせ、所作等)、帯結び(全通柄名古屋帯のお太鼓)、制限時間 10 分 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	各自授業でやったことを復習する。教本を見返しイメージトレーニングでもよい。
履修に 当たっての 留意点	着物に興味を持つこと。集中力を持って実技に挑む。

科目名	一般教養 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	市石 浩久 (実務経験：ホテルライオンズプラザ名古屋にてフロント 10 年・営業 2 年)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	国内地理・観光地・ブライダルの風習を学び、全国からいらっしゃるお客様に対し話題の提供、コミュニケーションがとれるスタッフを目指す。 各学生が各県のプレゼンテーションを行う。声の大きさ・表情・表現力等、感じの良さとは、相手に伝わる話し方を研究・実践する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業プレゼンテーション (なぜこの授業が必要なのか) 2. 白地図作成 (県庁所在地含む) 3. 学生プレゼンテーション① 4. 学生プレゼンテーション② 5. 学生プレゼンテーション③ 6. 学生プレゼンテーション④ 7. 学生プレゼンテーション⑤ 8. 学生プレゼンテーション⑥ 9. 学生プレゼンテーション⑦ 10. 学生プレゼンテーション⑧ 11. 学生プレゼンテーション⑨ 12. 学生プレゼンテーション⑩ 13. 学生プレゼンテーション⑪ 14. 学生プレゼンテーション⑫ 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用する。
成績評価方法 及び 基準	前期末試験にて 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	

科目名	一般教養 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	市石 浩久 (実務経験 : ホテルライオンズプラザ名古屋にてフロント 10 年・営業 2 年)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	国内地理・観光地・ブライダルの風習を学び、全国からいらっしゃるお客様に対し話題の提供、コミュニケーションがとれるスタッフを目指す。 各学生が各県のプレゼンテーションを行う。声の大きさ・表情・表現力等、感じの良さとは、相手に伝わる話し方を研究・実践する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生プレゼンテーション⑬ 2. 学生プレゼンテーション⑭ 3. 学生プレゼンテーション⑮ 4. 学生プレゼンテーション⑯ 5. 学生プレゼンテーション⑰ 6. 学生プレゼンテーション⑱ 7. 学生プレゼンテーション⑲ 8. 学生プレゼンテーション⑳ 9. 学生プレゼンテーション㉑ 10. 学生プレゼンテーション㉒ 11. 学生プレゼンテーション㉓ 12. 学生プレゼンテーション㉔ 13. 学生プレゼンテーション㉕ 14. 学生プレゼンテーション㉖ 15. 総まとめ
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用する。
成績評価方法 及び 基準	進級試験にて 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	

科目名	コンピュータトレーニング（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	村瀬 聖治（一般教員）
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	文書作成ソフト Word の文字、段落の書式設定、表の作成、文書印刷など Word の基本的な操作技術を学ぶ。（実習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Word の起動と終了、入力インジケータ、文字の入力 2. 文章の入力、入力の訂正、ファイルの保存と読み込み、ページ設定 3. 移動とコピー 4. 文書の作成 5. 文字の拡大と縮小、文字の修飾 6. 基本的な社外文書作成総合演習 7. 表を活用した文書の作成 8. 表の編集 9. 表を利用した文書作成総合演習 10. ページの色、ページ罫線の利用、ワードアートの利用 11. 図形の描画、図形の回転、図形のコピー 12. 画像の効果、挿入 13. 文字表示倍率の変更、テキストボックスの挿入 14. 総合演習 1 15. 総合演習 2
使用テキスト ・教材等	Windows10 対応 30 時間でマスター Office2016（実教出版）
成績評価方法 及び 基準	<p>実習評価の 6 割以上確保を持って合格とする。</p> <p>実習評価は、毎時間内に提出する課題の点数評価の合計点とする。 （事前説明後、提出課題の課題点を加味する場合もある）</p> <p>その他、学則に準拠する。</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	下欄を参照
履修に 当たっての 留意点	<p>就職活動における公欠であっても、授業は進み、提出課題も進んでいくので、授業を抜けたのなら、登校した日に、直ちに該当授業の課題を進めて提出すること。</p> <p>課題提出状況により理解度不足であると判断した場合には、実習後または指定期日に補習（実習）を実施することがある。</p>

科目名	コンピュータトレーニング（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	村瀬 聖治（一般教員）
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	表計算ソフト Excel を中心とした数式や基本的な関数、セルの書式設定など基本的な操作技術を学ぶ。（実習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Excel の起動と終了、表計算ソフトとは 2. データ入力の基礎 3. 基本的なワークシート編集 4. 実習 5. 関数を使った計算式 6. 小数点とセルの参照 7. 罫線 8. 行の挿入 9. 実習 10. グラフ、実習 11. 条件判定と順位付け 12. VLOOKUP 関数 13. Excel の便利な機能 14. 実習 15. 総合演習
使用テキスト ・教材等	Windows10 対応 30 時間でマスター Office2016（実教出版）
成績評価方法 及び 基準	<p>実習評価の 6 割以上確保を持って合格とする。</p> <p>実習評価は、毎時間内に提出する課題の点数評価の合計点とする。 （事前説明後、提出課題の課題点を加味する場合もある）</p> <p>その他、学則に準拠する。</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	下欄を参照
履修に 当たっての 留意点	<p>就職活動における公欠であっても、授業は進み、提出課題も進んでいくので、授業を抜けたのなら、登校した日に、直ちに該当授業の課題を進めて提出すること。</p> <p>課題提出状況により理解度不足であると判断した場合には、実習後または指定期日に補習（実習）を実施することがある。</p>

科目名	ブライダル業界研究 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	両木 彩華 (実務経験 : 5 年 スタイリスト)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダル業界の歴史をはじめ、現在の業界事情、これからの動向を研究し、それぞれの就職活動に役立てることを目的とする。 授業ではゼクシィなどのブライダル情報雑誌やフェア情報を取り入れ、学生の進む進路の研究に繋がる配慮を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブライダル業界について① 2. ブライダル業界について② 3. ブライダル業界について③ 4. コーディネーターに求められるもの 5. 結婚式の歴史とニーズの変遷 6. お客様の特徴 (花嫁クラスタ 8 種類) 7. 会場の特性 (専門式場) 8. 会場の特性 (ホテル) 9. 会場の特性 (ゲストハウス) 10. 会場の特性 (レストラン) 11. 会場の特性 (神社・仏閣) 12. 会場の特性 (フリースペース) 13. 会場の特性 (リゾート) 14. 会場の特性 (海外) 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活の中から、ブライダル業界・サービス業界に就くために、どのような人が求められるか、何をしたら相手が喜んでくれるかを考え、行動することを習慣付ける。
履修に 当たっての 留意点	現在の業界事情だけでなく、結婚式の歴史の移り変わりやこれからの動向を研究させる。

科目名	ブライダル業界研究 I (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	両木 彩華 (実務経験 : 5 年 スタイリスト)	
学科・学年	ブライダル科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダル業界の歴史をはじめ、現在の業界事情、これからの動向を研究し、それぞれの就職活動に役立てることを目的とする。 結婚式をサポートするブライダルコーディネーター・ブライダルプランナーとして、ニーズが多様化する中でお客様の希望に臨機応変に対応出来るようブライダルの基礎知識を身に付ける。	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 結婚記念日 2. サムシングフォー 3. 二次会・1.5 次会 4. 新婚旅行 5. 結婚式の人気シーズン 6. 会場別業界研究 7. 専門式場 8. ホテル 9. ゲストハウス 10. レストラン 11. 神社・仏閣 12. フリースペース 13. リゾート 14. 海外 15. まとめ 	
使用テキスト ・教材等	なし	
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活の中から、ブライダル業界・サービス業界に就くために、どのような人が求められるか、何をしたら相手が喜んでくれるかを考え、行動することを習慣付ける。	
履修に 当たっての 留意点	現在の業界事情だけでなく、結婚式の歴史の移り変わりやこれからの動向を研究させる。	

科目名	ブライダル接客マナー I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	中根 美沙 (実務経験：北海道国際航空(株)、(株)エアージャパン とともに客室乗務職)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダル業界を目指す学生たちが、現場に出た際に役立つ社会人としてのマナーを身に付けることを目的とする。特に接客をする人間として、相手の立場に立った考え方と行動が出来るように学習を進めていく。 一年生は、一年後に就職活動をするにあたり、まずは必要な言葉遣い・マナー・立居振る舞いが身に付くよう、実践も交えながら授業を行う。 授業は主に秘書検定のテキストを使用し、社会人として必要な資質やビジネスマナーを学ぶ。また、問題集を解きながら学びが自分のものとなるようにし、秘書検定 2 級の取得を目指す。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルールとマナーの違いを理解する 2. 第一印象・身だしなみ・お辞儀の種類・挨拶の基本と実践 3. 美しい立居振る舞いと言葉遣いの基本 4. 敬語の種類と基本のルール 5. 間違いやすい敬語の使い方と敬語の使い分け 6. ブライダル業界で役立つ接客用語・接客表現 7. 敬語・接客表現の練習問題と実践 8. 受付対応、来客対応、取り次ぎの対応 9. 席次のマナー (エレベーター、会議室、応接室、和室、車、電車など) 10. 慶事・弔事の種類とマナー 11. 贈答のマナーと表書き、水引の種類と使い分け 12. 郵便物の種類と使い分け 13. 郵便物の送付方法とマナーについて 14. ビジネス文書 (社内文書、社外文書、社交文書) について 15. 前期のまとめと問題演習
使用テキスト ・教材等	秘書検定 2 級集中講義、秘書検定実問題集 2 級
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において 60%以上正解で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	正しく美しい日本語が身に付くよう、日頃から言葉遣いや敬語の使い方について注意しながら話すよう心掛けること。また、美しい立居振る舞いを意識すること。
履修に 当たっての 留意点	ホスピタリティマインドが必要とされるブライダル業界を常に意識し、相手の立場に立って物事を捉え、行動できるようにすること。

科目名	ブライダル接客マナー I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	中根 美沙 (実務経験：北海道国際航空(株)、(株)エアージャパン とともに客室乗務職)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダル業界を目指す学生たちが、現場に出た際に役立つ社会人としてのマナーを身に付けることを目的とする。特に接客をする人間として、相手の立場に立った考え方と行動が出来るように学習を進めていく。 一年生は、一年後に就職活動をするにあたり、まずは必要な言葉遣い・マナー・立居振る舞いが身に付くよう、実践も交えながら授業を行う。 授業は主に秘書検定のテキストを使用し、社会人として必要な資質やビジネスマナーを学ぶ。また、問題集を解きながら学びが自分のものとなるようにし、秘書検定 2 級の取得を目指す。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生と社会人の違いを再確認する (自己管理能力、責任能力) 2. 社会人としての常識とビジネスマナーについて 3. 上手な人間関係をつくる為に必要なこと、コミュニケーション能力について 4. 仕事に取り組む姿勢と機転を利かせて対応する能力について 5. 秘文書の取扱いと注意点 6. ファイリングと名刺の整理 7. カタカナ用語、略語 8. 技能① (ビジネス文書、ビジネスメールの作成) 9. 技能② (グラフの使い分けと書き方) 10. スケジュール管理と職場環境の整備 11. 間違いやすい日本語について 12. 紛らわしい日本語の理解 13. アルバイト用語と正しい言葉遣い 14. 注意したい今どきの話し方について 15. 後期のまとめと問題演習
使用テキスト ・教材等	秘書検定 2 級集中講義、秘書検定実問題集 2 級
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において 60%以上正解で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	正しく美しい日本語が身に付くよう、日頃から言葉遣いや敬語の使い方に注意しながら話すよう心掛けること。また、美しい立居振る舞いを意識すること。
履修に 当たっての 留意点	ホスピタリティマインドが必要とされるブライダル業界を常に意識し、相手の立場に立って物事を捉え、行動できるようにすること。

科目名	コーディネーター資格試験対策（前期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	大竹 照代（実務経験：22 年 ブライダル司会業）	
学科・学年	ブライダル科 1 年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>ブライダルを担当する者が求められる実務知識を習得し、アソシエイトブライダルコーディネーター認定（ASS）試験の合格を目的とする。</p> <p>前期はテキストのブライダルの基礎知識をもとに意味や由来を学び、現在のブライダルシーンでの取り入れ方やそのほか演出の実例などの習得に努める。</p> <p>授業の始めに前回授業の内容からの小テストを行い、知識を確実に身に付ける。</p> <p>そして多様化しているブライダルの形態に対し、お客様に対して的確なアドバイスができる人材を育成することを目標とする。</p>	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブライダルコーディネーターとは 2. 結婚の類語・結婚の定義・結婚の状況 3. 結婚式のスタイル 4. 日本の結婚式：歴史と文化① 5. 日本の結婚式：歴史と文化② 6. 欧米の結婚式：歴史と文化① 7. 欧米の結婚式：歴史と文化② 8. ブライダル関連業種① 9. ブライダル関連業種② 10. ブライダルのエリア特性① 11. ブライダル業界の 1 年 12. 見合いと婚約 13. 結納 14. ブライダル準備・挙式、披露宴スタイル 15. キリスト教式の特徴 	
使用テキスト ・教材等	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード	
成績評価方法 及び 基準	筆記試験による評価：100 点満点中 60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	ブライダルの学びを実践で役立てるために、積極的に目上の人とコミュニケーションをとり、人との会話に慣れること。	
履修に 当たっての 留意点	テキストの基礎知識だけではなく、自らブライダル関連に興味を持ち、近年の業界情報を得ることに努めること。	

科目名	コーディネーター資格試験対策（後期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	大竹 照代（実務経験：22 年 ブライダル司会業）	
学科・学年	ブライダル科 1 年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダルを担当する者が求められる実務知識を確実に習得し、アソシエイトブライダルコーディネーター認定（ASS）試験の合格を目的とする。 後期は前期から学んだ基礎知識の理解度を確認するため、幅広いブライダル関連の小テストを数多く実施し、ASS 認定試験の予想問題に繰り返し取り組む。 コーディネーター資格の習得によって、将来の夢や目標、就職活動に向けての自信につなげる。	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神前式の流れ、特徴 2. 仏前式の流れ、特徴 3. 披露宴の基本的進行 4. コーディネーター業務 5. ブライダルセールス 6. ブライダルアイテムの選定①：和装 7. ブライダルアイテムの選定②：洋装 8. ブライダルアイテムの選定③：小物・フラワーアイテム 9. 会場コーディネート・テーブルプラン 10. 披露宴の演出 11. ペーパーアイテム・記録アイテム 12. 料理・飲物 13. テーブルセッティング 14. 当日業務 15. 一年のまとめ 	
使用テキスト ・教材等	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード	
成績評価方法 及び 基準	筆記試験による評価：100 点満点中 60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で学んだ実務知識を他科目の演習やイベントの企画などで応用し、プロデュース力をつけること。	
履修に 当たっての 留意点	ブライダルの演出をする場合は、新しさや表面的なアレンジにこだわるだけではなく、本来の演出の由来を大切にすること。	

科目名	ブライダルコーディネート I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大竹 照代 (実務経験 : 22 年 ブライダル司会業に携わる)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>ブライダルと深い関わりと重要な要素を持ち、ビジネスシーンでも大きく活用できる色彩の基礎知識を身に付けることを目的とする。前期はブライダルを学ぶ学生として姿勢・表情・挨拶・身だしなみ・メイクを見直す。その後、色のイメージ・性質など色彩理論の基礎を学ぶ。</p> <p>同時にカラーカードで色を確かめながら、カラーカードの貼付作業を通して、色の性質や位置づけを目で確認しながら知識を深める。</p> <p>色彩を学び、色が持つ効果や影響を認識し、生活や仕事において「色」に興味を持ったり生活において活用するようになることも目標とする。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブライダル科学生としての意識 2. ブライダルスタッフとしての姿勢・表情・挨拶・身だしなみ 3. ブライダルスタッフとしてのスキンケア・メイク 4. ポイントメイクレッスン① 5. ポイントメイクレッスン② 6. 色のイメージ 7. 色彩理論 : 色の分類・色の三属性 8. カラーカードを使って色相環の作成① 9. カラーカードを使って色相環の作成②・暖色、寒色、中性色 10. 色相による配色を考える 11. パーソナルカラーの説明・診断方法の説明 12. カラーカードを使ってトーン表を作成① 13. カラーカードを使ってトーン表を作成② 14. 色彩理論 : 明度・彩度・純色・明清色・暗清色・中間色 15. パーソナルシーズンの診断 (カラードレープを使って)
使用テキスト ・教材等	色相環・トーン表作成用にプリントを配付する。 その他 新配色カードなど。
成績評価方法 及び 基準	筆記試験による評価 : 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々、ブライダルスタッフとしての意識を持ち、自身を磨く努力をすること。 生活の中で「色」がどのような効果を持ち活用されているかに注目し、コーディネートに興味を持つこと。
履修に 当たっての 留意点	学んだことを毎日の生活の中で実践すること。演習においては 限られた時間の中でいかに正しく丁寧な作業ができるか、細かな作業にも懸命に取り組む姿勢を身に付けること。

科目名	ブライダルコーディネート I (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必須・選択
担当教官	大竹 照代 (実務経験 : 22 年 ブライダル司会業に携わる)	
学科・学年	ブライダル科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	前期に学んだ色彩の基礎知識をもとに それぞれの「自分に似合う色選び」を理解し、お客様や目的に合った色を選び、効果のあるコーディネートができるようにセンスを磨くことを目標とする。後期授業ではそれぞれの魅力を最大に引き出すパーソナルカラー、パーソナルカラーシーズンの特徴を学び、各人のパーソナルシーズンの診断をする。自身に活かせるだけではなく、周りの人や将来お客様のパーソナルカラーが判断できるようになり、その人をより引き立てるカラーの提案ができるまでになることを目標とする。また色彩理論をもとにカラーカードを使つての演習を多く取り入れ、ブライダルシーンにおけるカラーコーディネートの提案力を養う。	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナルカラーのシーズン別特徴 2. パーソナルカラーの取り入れ方① 3. パーソナルカラーの取り入れ方② 4. 色調 (トーン) による配色を考える① 5. 色調 (トーン) による配色を考える② 6. カラーコーディネートの効果 : 統一・変化 7. 色相・色調を基本に配色演習① 8. 色相・色調を基本に配色演習② 9. カラーコーディネートの効果 : アクセント・セパレーション・コントラスト 10. イメージワードからのコーディネート演習① (カラーカードを使つて) 11. イメージワードからのコーディネート演習② 12. イメージワードからのコーディネート演習③ 13. イメージワードからのコーディネート演習④ 14. 就活に活かすパーソナルカラー 15. 一年のまとめ 	
使用テキスト ・教材等	配色演習用にプリントを配付する。 その他 新配色カード、カラードレープなど。	
成績評価方法 及び 基準	筆記試験による評価 : 100 点満点中 60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	パーソナルカラーの学びを自身の服装やメイクに活用し、相手やお客様に好印象を持って頂くため、自身の魅力を最大限に引き出す努力をすること。	
履修に 当たつての 留意点	ブライダルシーンにおいてお客様がカラーを選ぶ際、パーソナルカラーも考慮し、希望やイメージを親身に伺い、お客様の立場に立ち、丁寧に提案できるよう根気よく物事に取り組むこと。	

科目名	イベント企画・プロデュース演習 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子 (実務経験 : 31 年 ブライダル司会・プロデュース業)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	結婚式場での実務経験を活かし、挙式の企画から施行までを学び、オリジナル結婚式の提案・進行まで結婚式に関わる実務業務の全てを習得し、即戦力となる力をつけることを目的とする。 授業では人前結婚式という枠にとらわれない結婚式を自由に演出し、司会・音響・照明・キャプテン・アテンド業務を実務で学ぶ。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. コーディネーターのセールスと施行① 2. コーディネーターのセールスと施行② 3. 人前結婚式の式次第について 4. 音響・照明 5. アナウンス 6. キャプテンアテンド 7. アシスト 8. ドアマン 9. 新郎新婦 10. オリジナル企画ミーティング① 11. オリジナル企画ミーティング② 12. 各担当グループに分かれ練習その① 13. 各担当グループに分かれ練習その② 14. 各担当グループに分かれ練習その③ 15. グループ別発表
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	結婚式に関連する施設、備品など、物を大切に丁寧に扱う習慣をつけること。
履修に 当たっての 留意点	実務を通し、想いを大切に、こだわりを持って企画・演出・発表する力をつける。

科目名	イベント企画・プロデュース演習 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子 (実務経験 : 30 年 ブライダル司会・プロデュース業)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	結婚式場での実務経験を活かし、挙式の企画から施行までを学び、オリジナル結婚式の提案・進行まで結婚式に関わる実務業務の全てを習得し、即戦力となる力をつけることを目的とする。 授業では人前結婚式という枠にとらわれない結婚式を自由に演出し、司会・音響・照明・キャプテン・アテンド業務を実務で学ぶ。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリジナル企画Ⅱミーティング① 2. オリジナル企画Ⅱミーティング② 3. オリジナル企画Ⅱミーティング③ 4. 各担当グループに分かれ練習その① 5. 各担当グループに分かれ練習その② 6. 各担当グループに分かれ練習その③ 7. 各担当グループに分かれ練習その④ 8. 各担当グループに分かれ練習その⑤ 9. 各担当グループに分かれ練習その⑥ 10. 披露宴演出① 11. 披露宴演出② 12. 演出企画① 13. 演出企画② 14. 演出企画③ 15. 一年のまとめ
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	結婚式に関連する施設、備品など、物を大切に丁寧に扱う習慣をつけること。
履修に 当たっての 留意点	実務を通し、想いを大切に、こだわりを持って企画・演出・発表する力をつける。

科目名	ホテル総論（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	市石 浩久（実務経験：ホテルライオンズプラザ名古屋にてフロント 10 年・営業 2 年）
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	プロのホテルマンとしてお役様にホスピタリティ溢れるサービスを提供するためにホテル業に対する正しい知識を学習する。 基本知識を体系的に学び、職業意識を身に付けさせ、お客様により良いホスピタリティが提供できるホテルエを目指す。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業プレゼンテーション（なぜこの授業が必要なのか） 2. ホテルとは 3. ホテルの歴史とは 4. ホテルの組織 5. 宿泊部門その① 6. 宿泊部門その② 7. 料飲部門その① 8. 料飲部門その② 9. 宴会部門 10. 調理部門 11. セールス部門 12. 企画部門 13. 総務・人事部門 14. 仕入・経理部門 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	新ホテル総論 日本ホテル教育センター
成績評価方法 及び 基準	前期末試験にて 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	名古屋市内 6 大ホテルの見学
履修に 当たっての 留意点	

科目名	ホテル総論（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	市石 浩久（実務経験：ホテルライオンズプラザ名古屋にてフロント 10 年・営業 2 年）
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	プロのホテルマンとしてお役様にホスピタリティ溢れるサービスを提供するためにホテル業に対する正しい知識を学習する。 基本知識を体系的に学び、職業意識を身に付けさせ、お客様により良いホスピタリティが提供できるホテルエを目指す。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスとは 2. サービスの心構え 3. 宿泊サービスの基礎知識 4. 料飲サービスの基礎知識 5. 宴会サービスの基礎知識 6. ホテルの防災・防犯管理 7. ホテル業界の課題 8. ホテル業を取り巻く環境の変化 9. ケーススタディその① 10. ケーススタディその② 11. ケーススタディその③ 12. 企業研究その① 13. 企業研究その② 14. 企業選択アドバイス 15. 総まとめ
使用テキスト ・教材等	新ホテル総論 日本ホテル教育センター
成績評価方法 及び 基準	後期末試験にて 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	名古屋市内 6 大ホテルの見学
履修に 当たっての 留意点	

科目名	ドレスクリエイティブ I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	中村 和代 (実務経験: (株)万兵デザイナー 5 年・(有)プランニングオフィスラグーンデザイナー 1 年・(有)よし川 ブライダルコーディネーター 8 ヶ月・中部ファッション専門学校教員 7 年・(株)バンタンデザイン研究所講師 7 年・明美文化服装専門学校教員 8 年・atelier porte 4 年・un_atelier 5 年)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダル業界の業務多様化に伴い、ドレス・スタイリングに関する感性を磨くため、ソーイング基礎知識 (実習)・ブライダル小物作成 (実習)、基本姿勢や立居振る舞い (演習)、ドレスに関する基礎知識とメンテナンス (講義)などを学び、お客様へのホスピタリティーや様々なご要望に臨機応変に対応できるプロフェッショナルを目指す。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 洋裁道具の用途と使い方 2. 基礎縫い<運針> 3. 基礎縫い<まつり縫い各種> 4. 基礎縫い<まつり縫い各種> 5. 基礎縫い<ホック・スナップ> 6. 基礎縫い<ループ各種> 7. 基礎縫い<ボタン付け> 8. オリジナルピアス制作<アクセサリ基礎知識・道具説明> 9. オリジナルピアス制作 10. オリジナルピアス制作 11. ドレス知識<ドレス歴史・ディテール> 12. ドレス知識<ボディタイプ・メンテナンス> 13. ウォーキング<基本姿勢・重心のとり方・ウォーキング> 14. ウォーキング<ポージング・表情・ドレスの扱い・和装の場合> 15. 調整予備日
使用テキスト ・教材等	授業内容ごとに必要なものを制作し、配布する。
成績評価方法 及び 基準	制作物の提出及び完成度と授業態度、作業中の整理整頓などを基準とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業時間内で予定までできなかった事柄に関して、提出日に間に合わないと判断した場合。
履修に 当たっての 留意点	苦手意識は持たず、全ての経験は糧になるという姿勢で積極的に挑む。

科目名	ドレスクリエイティブ I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	中村 和代 (実務経験: (株)万兵デザイナー 5 年・(有)プランニングオフィスラグーンデザイナー 1 年・(有)よし川 ブライダルコーディネーター 8 ヶ月・中部ファッション専門学校教員 7 年・(株)バンタンデザイン研究所講師 7 年・明美文化服装専門学校教員 8 年・atelier porte 4 年・un_atelier 5 年)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	カジュアルウエディングなど、様々なお客様のご要望にお応えできる人材となる様に、またブライダル展示会などにも対応できるよう、アクセサリーの制作 (実習) やディスプレイ (演習) を学ぶ。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヘアーアクセサリ制作<造花知識> 2. ヘアーアクセサリ制作 3. ヘアーアクセサリ制作 4. ヘアーアクセサリ制作 5. ディスプレイ基礎知識 6. ディスプレイ基礎知識 7. カルトナージュ知識 8. カルトナージュ制作 9. カルトナージュ制作 10. カルトナージュ制作 11. カルトナージュ制作 12. カルトナージュ制作 13. カルトナージュ制作 14. カルトナージュ制作 15. カルトナージュ制作
使用テキスト ・教材等	授業内容ごとに必要なものを担当者が制作し、配布する。
成績評価方法 及び 基準	制作物の提出及び完成度と授業態度、作業中の整理整頓などを基準とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業時間内で予定までできなかった事柄に関して、提出日に間に合わないと判断した場合。
履修に 当たっての 留意点	苦手意識は持たず、全ての経験は糧になるという姿勢で積極的に挑む。

科目名	ネイル実習 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	黒川 友美 (実務経験 : (有) ネイルックス4 年、Nail&SchoolBella 15 年携わる)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>ブライダルではいまやネイルは欠かせないものとなりつつあります。そのネイルとは何かを学びます。</p> <p>女性の身だしなみのひとつとして、健康で清潔な指先「美しい手」にするための正しい知識と技術を学び、日頃からのお手入れの大切さや、自分で出来るホームケア、ハンドマッサージ、ネイルアートを身に付け指先まで気にかける女性らしさ、美的センスを身に付け、キラキラデコレーションでは一つのものを作り上げる集中力の向上を目指します。</p> <p>ネイルの基礎を学ぶ講義と、技術を学ぶ実技を交えて進めていきます。(実習) 実技では生徒同士がお互いの爪で練習し合う相モデルの形態をとり技術を習得します。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネイルとは 2. 基礎理論① 3. 健康で清潔な指先の作り方① 4. 健康で清潔な指先の作り方② 5. 健康で清潔な指先の作り方③ 6. ハンドマッサージ① 7. 基礎カラーリング① 8. 基礎カラーリング② 9. ネイルケアトータル① 10. ネイルケアトータル② 11. 基礎理論② 12. キラキラデコレーション① 13. キラキラデコレーション② 14. 前期まとめ① (実技テスト) 15. 前期のまとめ②
使用テキスト ・教材等	担当者が作成し、その都度配布する資料を使用する。
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	普段お客様の立場になる事で気づいた点や、こうした方が良いのではないかとことを考え、施術など接客する側になったときに活かせるように学ぶ。
履修に 当たっての 留意点	常にお客様の立場になって考える。積極的に何事も発言すること。

科目名	ネイル実習 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	黒川 友美 (実務経験 : (有) ネイルक्स4年、Nail&School Bella15年携わる)
学科・学年	ブライダル科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>前期で習得した技術を基に、応用でアートをメインに学びます。 まずは基本の見本を見ながら同じものを描き、デザインのバランスや同じものを描く観察力を勉強します。</p> <p>その後、ネイルチップを使ってアートをしていきます。 ネイルアートを身に付け美的センス、一つのものを作り上げる集中力の向上を目指します。</p> <p>ネイルの基礎を学ぶ講義と、技術を学ぶ実技を交えて進めていきます。(実習) 実技では生徒同士がお互いの爪で練習し合う相モデルの形態をとり技術を習得します。</p>
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎フラットアート① 2. 基礎フラットアート② 3. チップ制作① 4. チップ制作② 5. チップ制作③ 6. 基礎理論③ 7. ハンドマッサージ② 8. 基礎カラーリング③ 9. 基礎カラーリング④ 10. 基礎理論④ 11. チップ制作応用① 12. チップ制作応用② 13. チップ制作応用③ 14. 後期のまとめ (実技テスト) 15. 1年間のまとめ
使用テキスト ・教材等	担当者が作成し、その都度配布する資料を使用する。
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100点満点のうち 60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	普段お客様の立場になる事で気づいた点や、こうした方が良いのではないかとことを考え、施術など接客する側になったときに活かせるように学ぶ。
履修に 当たっての 留意点	常にお客様の立場になって考える。積極的に何事も発言すること。

科目名	和装着付実習 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	天野 真由子 (実務経験：小林豊子きもの学院にて講師歴 12 年)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダルに携わる学生たちが現場において、即座に着物を扱うことができ、なおかつ着物の知識を持ち得ることにより、速やかにその対応ができるようになることを目的とする。授業の方法としては、自分で着物を着れるようになる事を前提に、多様な帯結びを伝え実践してもらおう。(実習) 加えて、基礎となる知識的な部分の講義を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 着付けのデモンストレーション 2. 着付け教材の使い方 長襦袢・着物のたたみ方 3. 着物の着方(前板まで) 4. 着物の着方(前板まで)復習 5. 蝶結び 6. 蝶結び(復習) 7. 貝の口 8. 貝の口(復習) 9. 蝶結び・貝の口(復習) 10. 着物の着方(復習) 11. 実技試験 12. 浴衣の着方・浴衣の講義 13. 片流し 14. 変り貝の口 15. 片流し・変り貝の口(復習)
使用テキスト ・教材等	小林豊子きもの学院教本 実技編・知識編
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：着物の着方(裾合わせ、衿合わせ、所作等) 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	各自授業でやったことを復習する。教本を見返しイメージトレーニングでもよい。
履修に 当たっての 留意点	着物に興味を持つこと。集中力を持って実技に挑む。

科目名	和装着付実習 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	天野 真由子 (実務経験：小林豊子きもの学院にて講師歴 12 年)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ブライダルに携わる学生たちが現場において、即座に着物を扱うことができ、なおかつ着物の知識を持ち得ることにより、速やかにその対応ができるようになることを目的とする。授業の方法としては、自分で着物を着れるようになる事を前提に、多様な帯結びを伝え実践してもらおう。(実習) 加えて、基礎となる知識的な部分の講義を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 着物の着方(復習) 教材枕の使い方 2. 全通柄名古屋帯のお太鼓 3. 全通柄名古屋帯のお太鼓(復習) 4. お太鼓柄名古屋帯のお太鼓 5. お太鼓柄名古屋帯のお太鼓(復習) 6. お相手結び(名古屋帯のふくら雀とその変化) 7. お相手結び(名古屋帯のふくら雀とその変化) 8. お相手結び(袋帯のふくら雀) 9. お相手結び(袋帯のふくら雀) 10. 着物の着方・蝶結び又は貝の口(復習) 11. 実技試験 12. 講義(着物・帯の種類) 13. 講義(着物のマナー) 14. 袋帯の二重太鼓 15. 袋帯の二重太鼓(復習)
使用テキスト ・教材等	小林豊子きもの学院教本 実技編・知識編
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：着物の着方(裾合わせ、衿合わせ、所作等)、帯結び(蝶結び又は貝の口)、制限時間 10 分 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	各自授業でやったことを復習する。教本を見返しイメージトレーニングでもよい。
履修に 当たっての 留意点	着物に興味を持つこと。集中力を持って実技に挑む。

科目名	インターンシップ（前期 120 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子（実務経験：31 年 ブライダル司会・プロデュース業）
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ホテルでの現場実習を通してプロのホテルマンからホスピタリティマインドを学び、ブライダルに必要なチームワーク、おもてなしの精神を身につける。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(施設見学、部署説明) 2. ウェディング研修 3. 配属先オリエンテーション(業務説明、各部署の役割説明)① 4. 現場実習① 5. 現場実習② 6. 現場実習③ 7. 現場実習④ 8. 中間発表会 9. 配属先オリエンテーション(業務説明、各部署の役割説明)② 10. 現場実習⑤ 11. 現場実習⑥ 12. 現場実習⑦ 13. 現場実習⑧ 14. 最終発表会 15. インターンシップまとめ
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	配属先の評価表をもとに 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	研修先の地域の特徴を調べる。
履修に 当たっての 留意点	業界に必要とされるマインドを研修の中でしっかり身につける。

科目名	ブライダル実習 I (前期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子 (実務経験 : 31 年 ブライダル司会・プロデュース業)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	人前結婚式の成り立ちを学び、実習を通して結婚式の基礎・基本を身につける。 学びの成果を発表する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人前結婚式の成り立ち① 2. 人前結婚式の成り立ち② 3. 新郎新婦スタイリング 4. 入場準備・確認(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 5. 迎賓(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 6. 新郎新婦入場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 7. 新郎新婦紹介(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 8. 結婚証明書署名(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 9. 結婚指輪交換(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 10. 成婚宣言(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 11. 新郎新婦退場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 12. シミュレーション① 13. シミュレーション② 14. 発表会 15. フィードバック
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	発表会にて 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活において、業界が求めるマインドづくりをする。
履修に 当たっての 留意点	技術や知識だけではなく、結婚式への想いを向上させる。

科目名	ブライダル実習 I (後期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	金井 美香子 (実務経験 : 31 年 ブライダル司会・プロデュース業)
学科・学年	ブライダル科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	人前結婚式の成り立ちを学び、実習を通して結婚式の基礎・基本を身につける。 基礎・基本の心を応用して、新しい演出に挑戦する。 学びの成果を発表する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習 2. 演出企画 3. 新郎新婦スタイリング 4. 入場準備・確認(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 5. 迎賓(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 6. 新郎新婦入場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 7. 新郎新婦紹介(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 8. 結婚証明書署名(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 9. 結婚指輪交換(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 10. 成婚宣言(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 11. 新郎新婦退場(アテンド、音響、照明、アナウンス、ドアマン、カメラマン) 12. シミュレーション① 13. シミュレーション② 14. 発表会 15. フィードバック
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	発表会にて 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の学校生活において、業界が求めるマインドづくりをする。
履修に 当たっての 留意点	技術や知識だけではなく、結婚式への想いを向上させる。

科目名	ブライダルアナウンス I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	金井 美香子 (実務経験 : 31 年 ブライダル司会・プロデュース業)
学科・学年	ブライダル科 1 年 ブライダルプランナーコース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	正しい発声、発音、滑舌など好感の持てる話し方の基本を学び、人前で堂々と笑顔で話すことが出来ることを目的とする。 授業ではういろう売りを使用して基礎を学び、人前結婚式のアナウンスが出来るようにする。(実習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ういろう売りの解説、必要性 2. ういろう売り 1 枚目 3. ういろう売り 2 枚目 4. ういろう売り 3 枚目 5. ういろう売り 人前式アナウンス 迎賓 6. ういろう売り 入場 7. ういろう売り 人前式説明シーン 8. ういろう売り プロフィール紹介 9. ういろう売り ベールアップ 10. ういろう売り 結婚証明書 11. ういろう売り 指輪交換 12. ういろう売り 退場前コメント 13. ういろう売り フラワーシャワー 14. ういろう売り 退場 15. ういろう売り 結び
使用テキスト ・教材等	ういろう売り、オリジナル司会原稿
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	自分の思いを相手に伝える習慣を身に付けさせる機会を、日ごろの生活の中で意識させる。
履修に 当たっての 留意点	結婚式のブライダルアナウンスを習得するだけでなく、就職活動、面接における基本も同時に学ばせる。

科目名	ブライダルアナウンス I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ 選択																																																												
担当教官	金井 美香子 (実務経験 : 31 年 ブライダル司会・プロデュース業)																																																												
学科・学年	ブライダル科 1 年 ブライダルプランナーコース																																																												
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	正しい発声、発音、滑舌など好感の持てる話し方の基本を学び、人前で堂々と笑顔で話す力をつけ、就職面接にも繋げることを目標とする。 授業ではいろいろ売りを使用して基礎を学び、人前結婚式のアナウンスが出来るようにする。(実習)																																																												
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<table border="0"> <tr> <td>1. ういろう売り</td> <td>迎賓～退場</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. ういろう売り</td> <td>迎賓～入場</td> <td>BGM 入り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. ういろう売り</td> <td>入場～プロフィール紹介</td> <td>BGM 入り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. ういろう売り</td> <td>ベールアップ～結婚証明書</td> <td>BGM 入り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. ういろう売り</td> <td>指輪交換</td> <td>BGM 入り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. ういろう売り</td> <td>賛同拍手～退場</td> <td>BGM 入り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. ういろう売り</td> <td>迎賓～退場</td> <td>BGM 入り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. ういろう売り</td> <td>迎賓～入場</td> <td>アテンド付き</td> <td>BGM 入り</td> </tr> <tr> <td>9. ういろう売り</td> <td>入場～プロフィール紹介</td> <td>アテンド付き</td> <td>BGM 入り</td> </tr> <tr> <td>10. ういろう売り</td> <td>ベールアップ～結婚証明書</td> <td>アテンド付き</td> <td>BGM 入り</td> </tr> <tr> <td>11. ういろう売り</td> <td>指輪交換</td> <td>アテンド付き</td> <td>BGM 入り</td> </tr> <tr> <td>12. ういろう売り</td> <td>賛同拍手～退場</td> <td>アテンド付き</td> <td>BGM 入り</td> </tr> <tr> <td>13. ういろう売り</td> <td>迎賓～退場</td> <td>アテンド付き</td> <td>BGM 入り</td> </tr> <tr> <td>14. ういろう売り</td> <td>アナウンスまとめ①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15. ういろう売り</td> <td>アナウンスまとめ②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1. ういろう売り	迎賓～退場			2. ういろう売り	迎賓～入場	BGM 入り		3. ういろう売り	入場～プロフィール紹介	BGM 入り		4. ういろう売り	ベールアップ～結婚証明書	BGM 入り		5. ういろう売り	指輪交換	BGM 入り		6. ういろう売り	賛同拍手～退場	BGM 入り		7. ういろう売り	迎賓～退場	BGM 入り		8. ういろう売り	迎賓～入場	アテンド付き	BGM 入り	9. ういろう売り	入場～プロフィール紹介	アテンド付き	BGM 入り	10. ういろう売り	ベールアップ～結婚証明書	アテンド付き	BGM 入り	11. ういろう売り	指輪交換	アテンド付き	BGM 入り	12. ういろう売り	賛同拍手～退場	アテンド付き	BGM 入り	13. ういろう売り	迎賓～退場	アテンド付き	BGM 入り	14. ういろう売り	アナウンスまとめ①			15. ういろう売り	アナウンスまとめ②		
1. ういろう売り	迎賓～退場																																																												
2. ういろう売り	迎賓～入場	BGM 入り																																																											
3. ういろう売り	入場～プロフィール紹介	BGM 入り																																																											
4. ういろう売り	ベールアップ～結婚証明書	BGM 入り																																																											
5. ういろう売り	指輪交換	BGM 入り																																																											
6. ういろう売り	賛同拍手～退場	BGM 入り																																																											
7. ういろう売り	迎賓～退場	BGM 入り																																																											
8. ういろう売り	迎賓～入場	アテンド付き	BGM 入り																																																										
9. ういろう売り	入場～プロフィール紹介	アテンド付き	BGM 入り																																																										
10. ういろう売り	ベールアップ～結婚証明書	アテンド付き	BGM 入り																																																										
11. ういろう売り	指輪交換	アテンド付き	BGM 入り																																																										
12. ういろう売り	賛同拍手～退場	アテンド付き	BGM 入り																																																										
13. ういろう売り	迎賓～退場	アテンド付き	BGM 入り																																																										
14. ういろう売り	アナウンスまとめ①																																																												
15. ういろう売り	アナウンスまとめ②																																																												
使用テキスト ・教材等	ういろう売り、オリジナル司会原稿																																																												
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100 点満点中 60 点以上を合格とする。																																																												
授業時間外 に必要な 学修内容	自分の思いを相手に伝える習慣を身に付けさせる機会を、日ごろの生活の中で意識させる。																																																												
履修に 当たっての 留意点	結婚式のブライダルアナウンスを習得するだけでなく、就職活動、面接における基本も同時に学ばせる。																																																												

科目名	ブライダルコーディネーターⅡ（前期 30 時間（90 分/コマ））	必須・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	両木 彩華（実務経験：5 年 スタイリスト）	
学科・学年	ブライダル科 1 年 ブライダルプランナーコース	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダルコーディネーター・ブライダルプランナーとして、お客様のニーズや事情に合わせ臨機応変に対応できるよう、ブライダルコーディネーターの基礎知識や心構えを学ぶことを目的とする。 また、お客様のあらゆる希望や相談事に対し、最適な提案やアドバイスができるようコミュニケーションスキルやマナーの向上を目標とする。	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブライダルコーディネーターの役割 2. ブライダルに関する業務の流れ 3. マナー・礼儀 4. ブライダルフェア 5. 挙式のサービス（神前結婚式） 6. 挙式のサービス（キリスト教結婚式） 7. 挙式のサービス（人前結婚式） 8. 挙式のサービス（仏前結婚式） 9. 挙式のセレモニー・演出 10. 婚礼衣装（和装） 11. 婚礼衣装（洋装） 12. 自分の憧れの結婚式（調べ学習） 13. 自分の憧れの結婚式（発表） 14. 自分の憧れの結婚式（発表） 15. まとめ 	
使用テキスト ・教材等	ブライダルプロデュース	
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	ブライダル業界の状況や動向に興味を持ち、自ら調べたり、考えたりする習慣を持つ。	
履修に 当たっての 留意点	ブライダル業界への就職を目指し、知識とマナーを身に付け、希望する進路に対しての軸を見つけることに繋げる。	

科目名	ブライダルコーディネーターⅡ（後期 30 時間（90 分/コマ））	必須・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	両木 彩華（実務経験：5 年 スタイリスト）	
学科・学年	ブライダル科 1 年 ブライダルプランナーコース	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	ブライダルコーディネーター・ブライダルプランナーとして、お客様のニーズや事情に合わせ臨機応変に対応できるよう、ブライダルコーディネーターの基礎知識や心構えを学ぶことを目的とする。 また、お客様のあらゆる希望や相談事に対し、最適な提案やアドバイスができるようコミュニケーションスキルやマナーの向上を目標とする。	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 披露宴の進行 2. 披露宴の会場レイアウト 3. 披露宴のセレモニー・演出 4. 装花・ブーケ 5. 音響（BGM） 6. 写真・映像 7. ペーパーアイテム 8. 引出物 9. トラブル・コンプレインの対応 10. 冠婚葬祭 11. 挙式・披露宴のニーズの変化 12. 自分の憧れの披露宴（調べ学習） 13. 自分の憧れの披露宴（発表） 14. 自分の憧れの披露宴（発表） 15. まとめ 	
使用テキスト ・教材等	ブライダルプロデュース	
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	ブライダル業界の状況や動向に興味を持ち、自ら調べたり、考えたりする習慣を持つ。	
履修に 当たっての 留意点	ブライダル業界への就職を目指し、知識とマナーを身に付け、希望する進路に対しての軸を見つけることに繋げる。	

科目名	ドレスクリエイティブⅡ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ 選択
担当教官	中村 和代（実務経験：(株)万兵デザイナー 5 年・(有)プランニングオフィスラグーンデザイナー 1 年・(有)よし川 ブライダルコーディネーター 8 ヶ月・中部ファッション専門学校教員 7 年・(株)バンタンデザイン研究所講師 7 年・明美文化服装専門学校教員 8 年・atelier porte 4 年・un_atelier 5 年)
学科・学年	ブライダル科 1 年 ブライダルスタイリストコース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ドレス・スタイリングに関するクリエイティブな発想・表現力を鍛え、これからの現場で求められるソーイングなどの基礎及び技術応用を学び、様々な場面で対応できるプロフェッショナルを目指す。 採寸の基礎知識では学生同士採寸し合い（講義・実習）、ピンワークでは将来のディスプレイや撮影に役立つ技術を習得（実習）、スカート制作でミシンやロックミシンの取り扱い（実習）を習得し、学ぶ。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 採寸基礎知識と実践 2. ピンワーク<歴史・テクニック> 3. ピンワーク<応用編> 4. ミシン・ロックミシン説明・使用方法 5. スカート制作<裁断> 6. スカート制作<裁断> 7. スカート制作<縫製> 8. スカート制作<縫製> 9. スカート制作<縫製> 10. スカート制作<縫製> 11. スカート制作<縫製> 12. スカート制作<縫製> 13. スカート制作<縫製> 14. スカート制作<縫製> 15. スカート制作<縫製>
使用テキスト ・教材等	授業内容ごとに必要なものを担当者が制作し、配布する。
成績評価方法 及び 基準	授業態度・制作技術・作業中の整理整頓や道具の扱いなどを基準とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業時間内で予定までできなかった事柄に関して、提出日に間に合わないと判断した場合。
履修に 当たっての 留意点	制作にあたり、準備と工程を理解し根気よく実行する。

科目名	ドレスクリエイティブⅡ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ 選択
担当教官	中村 和代（実務経験：(株)万兵デザイナー 5 年・(有)プランニングオフィスラグーンデザイナー 1 年・(有)よし川 ブライダルコーディネーター 8 ヶ月・中部ファッション専門学校教員 7 年・(株)バンタンデザイン研究所講師 7 年・明美文化服装専門学校教員 8 年・atelier porte 4 年・un_atelier 5 年)
学科・学年	ブライダル科 1 年 ブライダルスタイリストコース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	前期に学んだソーイング基礎知識を踏まえ、ウエディングドレスの基礎構造となるワンピースドレスを学ぶ（講義・実習）。2 年生で制作予定のオリジナルドレスの為、既成ドレスの構造や縫製を知る為に、学校の古くなったドレスを現在のトレンドを踏まえリペア&リメイクする（実習）。アパレル廃棄が社会問題になり、企業のサステナビリティが叫ばれている中、実在するドレスをいかに蘇らせるかを考え、制作できる人材となるよう学ぶ。
学修内 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワンピースについて 2. ワンピース制作（裁断） 3. ワンピース制作（接着芯貼り） 4. ワンピース制作 5. ワンピース制作 6. ワンピース制作 7. ワンピース制作 8. ワンピース制作 9. ワンピース制作 10. ワンピース制作 11. ウエディングドレスリペア 12. ウエディングドレスリペア 13. ウエディングドレスリペア 14. ウエディングドレスリペア 15. ウエディングドレスリペア
使用テキスト ・教材等	授業内容ごとに必要なものを担当者が制作し、配布する。
成績評価方法 及び 基準	授業態度・制作技術・作業中の整理整頓や道具の扱いなどを基準とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業時間内で予定までできなかった事柄に関して、提出日に間に合わないと判断した場合。
履修に 当たっての 留意点	制作にあたり、準備と工程を理解し根気よく実行する。

科目名	ネイル実習Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ 選択
担当教官	黒川 友美（実務経験：(有) ネイルक्स4年、Nail&School Bella 15年携わる）
学科・学年	ブライダル科 1年 ブライダルスタイリストコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>ネイル実習Ⅰでは学べないより詳しくネイルというものは何かを学びます。専門的なことを少しずつ取り入れ、ネイルの技術を生で感じていただけるよう、デモンストレーションを多く取り入れながら説明をしていきます。ネイル実習Ⅰで使わない道具も使ってより専門的なことを学びます。</p> <p>ネイルの基礎を学ぶ講義と、技術を学ぶ実技を交えて進めていきます。（実習）実技では生徒同士がお互いの爪で練習し合う相モデルの形態をとり技術を習得します。</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネイルとは 2. デモンストレーション① 3. 基礎理論① 4. デモンストレーション② 5. 健康で清潔な指先の作り方応用① 6. 健康で清潔な指先の作り方応用② 7. ネイルケアトータル① 8. ネイルケアトータル② 9. 基礎理論② 10. デモンストレーション③ 11. 基礎理論③ 12. 基礎理論④ 13. 前期のまとめ① 14. 前期のまとめ②（実技テスト） 15. 前期のまとめ③
使用テキスト ・教材等	担当者が作成し、その都度配布する資料を使用する。
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100点満点のうち 60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	普段お客様の立場になる事で、施術など接客する側になったときに活かせるように学ぶ。いろんなデザインを見て勉強する。
履修に 当たっての 留意点	常にお客様の立場になって考える。積極的に何事も発言すること。

科目名	ネイル実習Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	黒川 友美（実務経験：(有) ネイルックス4年、Nail&School Bella 15年携わる）
学科・学年	ブライダル科 1年 ブライダルスタイリストコース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>前期で習得した技術を基に、応用でアートをメインに学びます。 まずは基本となっているネイル実習Ⅰで学んだネイルアート基礎が習得できた後、自分でデザインを考える力を少しずつ身に付けます。 アート技術を身に付け美的センス、デザイン力、一つのものを作り上げる集中力の向上、一通りの接客技術が出来る様トータル的な修得を目指します。</p> <p>ネイルの基礎を学ぶ講義と、技術を学ぶ実技を交えて進めていきます。（実習） 実技では生徒同士がお互いの爪で練習し合う相モデルの形態をとり技術を習得します。</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポリッシュアート① 2. ポリッシュアート② 3. ネイルアート応用① 4. ネイルアート応用② 5. チップ制作① 6. チップ制作② 7. デモンストレーション④ 8. 基礎カラーリング③ 9. 基礎カラーリング④ 10. 基礎理論⑤ 11. ブライダルチップ制作① 12. ブライダルチップ制作② 13. ブライダルチップ制作③ 14. 後期のまとめ（実技テスト） 15. 1年間のまとめ
使用テキスト ・教材等	担当者が作成し、その都度配布する資料を使用する。
成績評価方法 及び 基準	実技試験 100点満点のうち 60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	普段お客様の立場になる事で気づいた点や、こうした方が良いのではないかということを考え、施術など接客する側になったときに活かせるように学ぶ。
履修に 当たっての 留意点	常にお客様の立場になって考える。積極的に何事も発言すること。